

# 憲法しんぶん速報版

第 137 号

2006 年 2 月 20 日

発行＝憲法会議

Tel 03-3261-9007

Fax 03-3261-5453

## 「5・3 憲法集会」成功へ実行発足

## 国民投票法反対でも共同めざす

1 月 20 日に始まった通常国会は、耐震強度偽装、ライブドア、米国産牛肉輸入、防衛庁汚職等々、小泉政治の矛盾がさまざまな角度から噴出しています。しかし、自公与党や民主党は、予算案の審議が終わった段階から国民投票法案の協議に入ることを企てるなど、憲法改悪へのスケジュールを着々とこなそうとしています。

### 今年の憲法集会の意義確認

2001 年いらい東京で 5 月 3 日の憲法集会を共同で開いてきた諸団体は、2 月 7 日、今年の 5 月 3 日に向けて第 1 回の実行委員会を開きました。

実行委員会では、保坂展人・社民党衆院議員、吉川春子・共産党参院議員が国会情勢を報告。参加者は、自民党、民主党がそれぞれの改憲構想を国民の中に広げようとしていることや、改憲のための国民投票法案の国会提出もありうる情勢のもとで、今年の「5・3 憲法集会」のもつ意義を確認しあいました。そのうえで、今年の集会の大綱を次のようにすることとしました。

◇日時 5 月 3 日 午後 1 時 30 分

◇会場 日比谷公会堂

◇集会名称 憲法改悪のための国民

### ◇「2006 年 5・3 憲法集会」 第 2 回実行委員会

\*日時 3 月 9 日 6 時 30 分～

\*会場 神田ひまわり館

### ◇憲法会議第 41 回全国集会

\*日時 3 月 11 日 11 時

\*会場 新宿農協会館

\*議題 ①06 年度運動方針②予算・決算③新役員選出、他

投票法はいらない とめよう「戦争をする国」づくり 生かそう 9 条のちから 2006 年 5・3 憲法集会

◇スピーチ 文化人 2 名、共産党、社民党党首（要請中）

◇文化行事 Qちゃんサンバ

※国民投票法案が国会に出される情勢になれば、集会、昼休みデモ、署名提出行動などの行動を行う。

## 自公民の改憲への取り組み

(2月7日「読売」)

**【船田元・自民党憲法調査会長】**「昨年 11 月に新憲法草案を発表したが、このことで逆に憲法改正の動きがスピードダウンしてしまうのではと思われがちだ。新憲法草案について議論した熱意を党内で絶やさないようにするのが、この1年の課題だ。シンポジウムを全国で展開したい。全国 11 ブロックごとに中心都市でやっていくという感じだ。…今年後半ぐらいには、国会議員だけでなく、一般党员や国民からの意見を聞き、新憲法草案の権利・義務の部分については『国民の国への協力』が強調されるよう再定義したい。『第2次草案』を作るイメージだ」

**【太田昭宏・公明党憲法調査会座長】**

「今年秋をメドに、何らかの形で『加憲』案を出す。今国会で国民投票法案が成立すれば、その後には中身の点での検討が始まるので、それに間に合うようにしたい。…国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の憲法3原則を堅持し、9条1項、2項を堅持した上で、環境権、プライバシー権などを付け加える、というのが党の『加憲』の考え方。できれば、条文の形にしたい。9条については、自衛隊の存在や国際貢献のあり方などを付け加えるかどうか、付け加えるとしたらどういう形でやるかを議論している最中だ」

**【枝野幸男・民主党憲法調査会長】**「憲法改正のすべてのテーマを同時並行でやる必要はなく、国民的な議論や国会内の合意が煮詰まったものからやれば

## 自民党が「第2次草案」？

(船田元・党憲法調査会長)

「草案の内容は、必ずしも自民党らしいものではなかったという受け止めが、党内にはある」

「例えば前文は、よく整理された内容ではあるが、感情、感慨を含んだ表現が削られ過ぎた。9条は、自衛軍を認めたのは前進だが、集団的自衛権が認められたのか、認められなかったのか明確ではない。権利義務については、権利は新しいものが入ったが、自民党内で議論した義務、責務は手薄になった」

「靖国参拝、皇室典範改正問題の議論などをみると、やや（自民党らしさを出すべきだとする）独自派が党内で勢いを増している印象を持っている」（2月16日「東京」）

いい。安全保障、分権、内閣制度の見直し部分は整理ができてきている。昨年 10 月に出した我が党の憲法提言は分量が少し長いので、国民が判断、議論しやすいように整理したい。…今年は、党本部主導のシンポジウムを少なくとも全国 11 ブロックで行いたい」

## 毎年約5回、28年目の憲法学校

**【宮城】** 宮城憲法会議は2月8日、憲法学校を開きました。あいさつした我孫子麟・代表委員はこの憲法学校が毎年5回程度開いて 28 年目を迎えたことを紹介し、「憲法を受け身ではなく広げる運動」をすすめること強調しました。この日は、「平和で人間らしく生きるために」と題して伊藤博義・宮城教育大学名誉教授が講演しました。